

江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成 26 年度第 1 回 第 4 分科会（教育分野）	
日時	平成 26 年 10 月 20 日（月） 午後 1 時 30 分～午後 4 時 9 分	
場所	江南市役所 3 階 第 4 委員会室	
出席者	市民委員	梶田 福好、川口 邦彦、森崎 芳子、伊藤 鶴吉、水野 勲
	市職員	武馬 健之、高田 裕子、伊藤 健司
傍聴者	なし	
議題	1. 会議の公表及び公開について 2. 今年度のまちづくり会議について 3. 委員及び市職員の紹介 4. 戦略計画達成状況報告書（まちづくり評価シート）について 5. 第 2 回の会議日程について	
資料	資料 1 江南市まちづくり会議委員名簿 資料 2 会議の公表及び公開について 資料 3 今年度のまちづくり会議について 資料 4 戦略計画達成状況報告書（まちづくり評価シート）	

◆ 会議結果 ◆

1. 会議の公表及び公開について

- ・江南市市民参加条例が制定され、平成 26 年度から会議の開催にあたっては、開催の事前公表、会議の公開、会議録の公表が義務付けられたことについて、資料 2 に基づき、行政経営課主幹より説明がありました。

2. 今年度のまちづくり会議について

- ・まちづくり会議の目的、役割、今後のスケジュール等について、資料 3 に基づき、総務部長より説明がありました。

3. 委員の紹介

- ・4 月の人事異動により変更のあった市職員の委員について、事務局より紹介がありました。

4. 戦略計画達成状況報告書（まちづくり評価シート）について

〔柱 1〕 地域に開かれた快適で安全な学校づくり

- ・資料 4 に基づき、委員（教育課長）より説明がありました。

〔全体目標〕 学校・家庭・地域との関わりの中で、児童・生徒が自ら学ぶ力を持ち、心豊かにいきいきと育っている

- ・全国的に児童・生徒の体力が年々低下していると報道されているが、江南市についてはどうか、また体力テストの内容について質問があり、具体的な件については次回の会議で報告するとの説明がありました。
- ・すべての指標において、小学校と中学校に分けたほうがいいのかという意見がありました。

〔個別目標②〕 学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの社会性、人間性がはぐくまれている

- ・職場体験学習の日数について質問があり、3 日間との説明がありました。

- ・自主的になかなかあいさつができない児童・生徒に対しては、まわりの大人が主導となり粘り強く対応していく必要があるとの意見がありました。
- ・学校評議員に対しての活動に対する質問があり、各学校に約 5 名ずつ配置されており、年に 2～3 回開催されているとの説明がありました。また、学校に対する学校評議員の意見については次回の会議で報告するとの説明がありました。

【個別目標③】 バランスのとれた給食や食育の実施により、子どもたちが正しい食習慣を身につけて健康に育っている

- ・朝食を食べない児童・生徒に対してどのような指導がなされているかとの質問があり、全国学力学習状況調査結果からも、朝食を毎日食べるなどのよい生活習慣は、学習能力にも繋がっていることから、引き続き学校給食を通じ、生活習慣の向上について啓発を図っていくとの説明がありました。

【柱 2】 将来にわたって活躍できる人づくり

- ・資料 4 に基づき、委員（教育課長）より説明がありました。

【全体目標】 良好な教育環境が構築され、青少年の健全な育成が図られている

- ・青少年が健全に育成されていると感じる市民の割合について、目標値の 40.2%に対し実績値が 49.3% となっており、達成状況は 100%を超えているが、いじめや不登校問題がある中で本当に健全に育成が図られているのか疑問に感じるという意見がありました。
- ・スマートフォンに対する問題に関し、親の意識が低いこと、またマナーの問題でもあるということや、大きな社会問題として自治体レベルだけではなく国ももっと関与していくべきであるとの意見がありました。

【個別目標①】 地域社会が教育に関心をもち、望む教育を受ける環境が整っている

- ・地域には多くの人材が溢れているので、それを教育に活かしていけるように地域の方々に関心をもってもらえるよう啓発をしていくべきであるとの意見がありました。

【個別目標②】 子どもが健やかに育つ環境が整い、人間性豊かな子どもたちが育っている

- ・こども土曜塾は平成 25 年の 6 月から開催しているが、25 年度も 26 年度も定員数に対して応募が殺到している状況にある中で、25 年度と同じ児童が参加している。前年に参加した児童は外すべきではないかという意見があり、こども土曜塾の参加者は抽選ではなく、学校と相談する中で、本当に土曜塾が必要な児童を選んでいるとの説明がありました。また、算数だけではなく国語など他の教科も実施すべきではないか、希望する児童が多いので対象人数をもっと増やすべきではないかとの意見がありました。
- ・いじめや不登校の状況は把握しているかとの質問があり、いじめについては学校からの報告件数を把握しており、減少傾向にある。平成 25 年度の不登校の状況については、小学校が 5,946 人中 43 人、中学校が全体の 3,099 人中 109 人であるとの説明がありました。

5. 第 2 回の会議日程について

- ・第 2 回の会議日程について、次のとおり決定しました。

<第 2 回> 10 月 24 日（金）午後 5 時 00 分～

6. その他

- ・森崎副分科会長、教育課長に、12 月 24 日開催予定のまちづくり会議（全体会議）への出席のお願いが事務局からありました。